

JR連合 政策News

第210号

2011年12月6日

12万3000名の思いよ届け！

国土交通大臣、総務大臣政務官へ組合員署名を提出！

2012税制改正要望実現に向けて最後の要請行動展開！

前田国土交通大臣、福田総務大臣政務官へ約12万3000名署名を提出し、JR連合全組合員の思いを訴え！12月2日、JR連合はJR連合各単組委員長とともに、最終局面を迎えた2012税制改正実現に向け、精力的に要請行動を展開した。

JRに関わる2012税制改正要望実現に向けて、この間各地区でJR連合全組合員そして家族を中心とした署名活動を精力的に展開し、実に12万3000名にも及ぶ仲間が署名を行った（詳細はJR連合情報No19参照）。この署名用紙には組合員の思いが刻まれており、現在最終調整を行っている政府要人にその思いを伝えるべく、今回の要請行動が実施された。

まず前田国土交通大臣へ要請に赴き、代表して坪井会長から「JR三島会社そしてJR貨物は極めて脆弱な経営を強いられている。今回で期限切れを迎える各種税制特例措置がなければ、将来に亘っての安定経営は維持できない。是非とも最後の最後までねばり強く交渉を行っていただきたい」と、署名提出とともに訴えた。

それを受けて前田大臣からは、「趣旨は重々承知している。現在大変厳しい交渉を展開しているが、JR各社の安定経営のためにもしっかりと取り組んで参りたい」と呼応した。

その後福田総務大臣政務官を訪問し、要請行動を展開した。坪井会長から署名を提出するとともに、101にも亘る地方議会で意見書を採択した点に触れ、「地方議会も苦渋の選択のうえ、意見書を採択いただいた。この点を十分考慮の上、総務省として判断いただきたい」と強く訴えた。

それに対して福田総務大臣政務官は、「要請内容は十分理解した。地方行財政が極めて逼迫している状況であり、諸般の事情等を勘案して判断していきたい」と回答した。

2012税制改正もいよいよ最終の判断が下されようとしている。JR連合は要望実現のため、最後の最後まで全力で取り組みを進めていく。

